



HOTMELT HM270

リョービホットメルト

このたびはリョービホットメルト(HM270)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機は専用グルー（ホットメルト接着剤）を使用することにより、早く、確実な接着を可能にしたものです。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取扱いただきますよう、お願いいたします。

特徴

①値は専用筒形グルーをヒーターの熱（約200℃）により溶かし、接着剤として使用する為の簡便です。グルーは過熱すると焼け、冷えると固体に昇り、高分子化合物（ホットメルト接着剤）を丸棒状に成形したものです。この接着方法には次のような特徴があります。

- ①秒速接着が可能ですから「乾くまで待つ」ことなく次の作業に移れます。
- ②木・紙・プラスチック・ガラス・陶器・金属・ゴム等広範囲に使用できます。
- ③有害溶剤（シンナー・トルエンなど）を含みませんから、無毒・無公害・安全です。

- ④シーリングにも適しています。
- ⑤凹凸面、多孔質材質への接着にも適しています。
- ⑥固化後もある程度柔軟性がありますので、柔らかい材質の接着にも適しています。

- ⑦チューブ入り溶剤製接着剤のように、保管中に硬化したり、ふたが閉かなくなる等のトラブルがありません。
- ⑧グルー（接着剤）が筒形のため、取扱いと保管が容易です。
- ⑨一度接着したものを再加熱（100℃位）により、取外しが可能です。

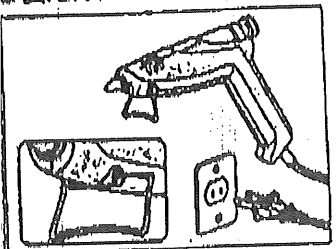
使用上の注意事項

- ①接着面の油・汚れ、サビなどは、予めきれいに取り除いて下さい。
- ②赤外線・ストーブなどの温度の高くなる恐れのある場所への接着は避けて下さい。
- ③濡れている場所や、水がしみ込み易い場所（材質）への接着は避けて下さい。
- ④ガラス・陶器・金属など、冷えているものを接着する場合は、予め接着面をあたためて下さい。
- ⑤通った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。絶縁を低下させ、感電事故のもとになります。
- ⑥電源を入れてから使用できる状態になるまで5～10分かかります。その間にノズル（先端部）から溶けたグルーが流出することが

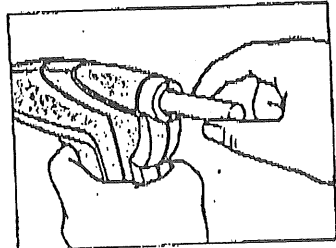
- ありますので、置く場所にご注意下さい。
- 置く場所にはスタンドを使用して本体を支え、ノズルが斜め下を向くようにして下さい。ノズルを上に向けた状態にしておきますとグルーが逆流し、故障の原因となります。（スタンド使用方法参照）
- ノズル付近は高温（約170℃）になりますのでさわらないで下さい。また、溶けたグルーも高温です。ご注意ください。
- 挿入したグルーは絶対に引き抜かないで下さい。使用中はグルーの先端が溶けています。グルーを引き抜きますと、溶けたグルーがグルー挿入口内部に付着し、故障の原因となります。グルーの種類を替える場合も、挿入されて

- いるグルーを引き抜かず、次のグルーを挿入し、前のグルーは使い切って下さい。（内部で固まるグルーが溜まることは無しです。）
- ※万一誤ってグルーを引き抜いた場合はグルー挿入口から外にはみだしたグルーを完全に取り除いたのち、新しいグルーを挿入し強く押し込んで下さい。この場合ホットメルト本体が十分にあたたまった状態（電源を入れてから20分以上）で作業を行なうして下さい。
- 作業を中断する時はプラグを外し、電源を切して下さい。
- 使用後は本体を十分にさまし、ノズル部が冷えたことを確認してから収納して下さい。

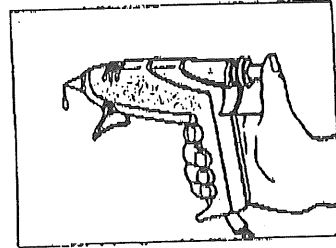
使用方法



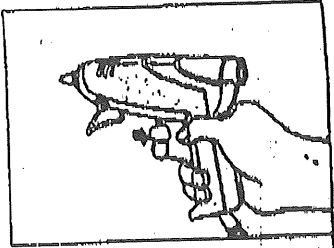
①本体に付属品のスタンドを取付け、下側に回し、ハンドル下部とスタンドで本体を支持して下さい。プラグは100V電源に差し込んで下さい。



②グルーを挿入口より止まるまで押し込んで下さい。5～10分（風通、グルーの種類により異なる）経過しますとグルーの先端部が溶け、使用可能となります。



③グルーの吐出量の調整は緩押のかで加減して下さい。またトリガー式のものはトリガーレバーを引く力で加減して下さい。粘り合わせは、グルーを吐出した後、遅ゆかに行なって下さい。また、接着物が冷えていますと、更に硬化



温度が早く乾きますので、あらかじめドライヤー等を利用して固めておきますと、作業がしやすくなります。特に金属・ガラス・タイル等の場合は、よく固めておきますと、よい結果が得られます。

